

教育委員会事務事業
点検・評価報告書

(令和元年度実績)

令和2年9月

小鹿野町教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度について	・・・	1
2	令和元年度 小鹿野町教育行政重点施策	・・・	1
3	点検・評価の項目	・・・	2
4	達成度と評価結果	・・・	2
5	点検・評価表	・・・	3

1 教育委員会の点検・評価制度について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられています。

小鹿野町教育委員会では、令和元年度から5年度までを期間とする「第2次小鹿野町教育振興基本計画」を策定し、それに基づき毎年「教育行政重点施策」を策定しています。

今回の報告書は、令和元年度重点施策に基づく取組結果を点検し、評価を行ったものです。

2 令和元年度小鹿野町教育行政重点施策

基本目標

〇かがやく未来へ おがの人づくり

目指す子供像

郷土小鹿野に誇りを抱き、
確かな「人間力」を身に付けた子供

目指す町民像

一人一人が生涯にわたって主体的
に学び続け、互いに支え合う町民

重点施策

<学校教育分野>

(1) 確かな学力の育成

- ①小鹿野ベースによる授業改善
- ②おがの自学ノートによる主体的な学びの育成
- ③授業改善研修・若手教員研修の実施

(2) 豊かな心の育成

- ①「人のために」という意識の高揚
- ②ほっとハートキャンペーンの推進
- ③健康の保持・増進

(3) 夢に向かう活力の育成

- ①夢育成プロジェクトの推進
- ②ハートコンタクトプログラムの推進
- ③小鹿野ふるさと学習の充実

(4) 小鹿野ならではの教育の推進

- ①おがの家庭教育宣言の充実・発展
- ②小鹿野未来塾の充実
- ③海外交流事業の推進

(5) 次世代へつなぐ教育環境の整備

- ①幼保一元化に向けた効果的な指導方法の研究
- ②小鹿野高校との連携による地域教育の発展
- ③ICT機器の活用による教育環境整備

<社会教育分野>

(1) ライフステージに合わせた学習機会の提供

- ①家庭教育の推進
- ②成人教育の推進
- ③人権教育・啓発の推進

(2) 生涯学習推進体制の整備と促進

- ①学習機会の創出
- ②人材の確保
- ③社会教育施設の維持管理と活用

(3) 生涯スポーツと健康づくりの推進

- ①スポーツ施設の維持管理・有効活用
- ②団体・クラブの指導者の育成
- ③スポーツ活動の場と機会の充実

(4) 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用

- ①文化財保護と活用の推進
- ②伝統文化の伝承後継者の育成
- ③文化芸術活動の充実

(5) 知の拠点としての図書館機能の充実

- ①利用者サービスの充実
- ②図書資料の充実
- ③子供読書活動の推進

3 点検・評価の項目

No	点検・評価項目	主担当課
1	教育委員会会議の実施状況	学校教育課
2	教育委員の活動状況	同 上
3	学力向上に向けた授業改善	同 上
4	家庭学習習慣の定着	同 上
5	教職員の資質向上	同 上
6	小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援	同 上
7	ハートコンタクトプログラムの推進	同 上
8	おがの家庭教育宣言の推進	同 上
9	語学力・コミュニケーション能力の育成	同 上
10	自他の命と心を大切にする教育の推進	同 上
11	健康教育の推進	同 上
12	ライフステージに合わせた学習機会の提供	社会教育課・公民館
13	生涯学習推進体制の整備と促進	公民館
14	生涯スポーツと健康づくりの推進	社会教育課
15	芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用	社会教育課・公民館
16	地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進	社会教育課・学校教育課
17	利用者サービスの充実	図書館
18	図書資料の充実	同 上
19	子供読書活動の推進	同 上

4 達成度と評価結果

達成度	評価
100%	A 【目標どおりまたは以上】
80%以上100%未満	B 【概ね目標どおり】
60%以上80%未満	C 【目標をやや下回る】
40%以上60%未満	D 【目標を大きく下回る】
40%未満	E 【未実施または再検討】

※達成度：会議の開催回数など、実績値などから目標達成率（ ）内数値を算出し、平均値（下線付き数値）を記載

※評価：上記表の5段階評価を記載

5 点検・評価表

1 教育委員会会議の実施状況				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>96</u>	B	○町の教育施策や教育課題に即時対応するため、各教育機関から提出された議案等に対し適切な審議が行われた。今後は教育行政等について意見交換をする機会をさらに充実させていく。	
①定例会	①定例会	(92)			
<u>月1回</u> <u>年間12回開催</u>	<u>11回</u>				
②臨時会	②臨時会	(100)			
<u>随時</u>	<u>2回</u>				
2 教育委員の活動状況				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>97</u>	B	○総合教育会議を通じて、町の教育行政について町長と教育委員会で目標や課題の共有化を図ることができた。今後も町長とより緊密に連携をしながら、教育行政を推進していく。	
①総合教育会議出席	①総合教育会議	(100)			
<u>2回</u>	<u>2回</u>				
②視察研修会出席 及び学校訪問等	・ 学校教育ビジョンについて等 ・ 教育委員会主要事業について	(93)		○町内の小・中学校を訪問し、児童生徒の学びの様子や教育環境等、学校の現状と課題を把握するとともに、今後の教育施策に生かしていく。また、卒業式及び卒園式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出席を取りやめた。 ○視察研修を行うことにより、教育委員としての資質向上を図るとともに、他教育委員との意見交換を行い、他教育委員会と情報共有を図ることができた。今後も研修会等には積極的に参加し、教育行政等に関する知識を深めていく。	
<u>1回</u>	・ 彩の国教育の日学校訪問	<u>1回</u>			
<u>2回</u>	・ 教育委員会連合会研修会	<u>1回</u>			
<u>6回</u>	・ 運動会	<u>6回</u>			
<u>6回</u>	・ 入学式、入園式	<u>6回</u>			
<u>1回</u>	・ 卒業式、卒園式	<u>1回</u>			
<u>年間15回</u>	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席取りやめ <u>合計14回</u>				

3 学力向上に向けた授業改善					《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>67</u>	C	<p>○埼玉県学力調査では伸びの認められた項目が多く見られ県平均に近づいてきているが、正答率においてはまだまだ県平均を上回る項目数は少ない。引き続き、学力向上を課題として、取組を続けていく。</p> <p>○小鹿野ベースをもとに、小・中学校の系統性・連続性を意識した授業改善研修を行い、さらなる学力の伸びへと繋げていく。</p>	
①全国及び県学力・学習状況調査における正答率の向上	正答率が県平均を上回った項目数	(11)			
<u>県平均を上回る</u>	<u>19項目中2項目</u>				
②県学力・学習状況調査の結果向上	伸びが認められた教科数	(91)			
<u>全ての教科で伸長</u>	<u>11教科中10教科</u>				
③授業改善研修会の実施	授業改善研修会の実施	(100)			
<u>全10回</u>	<u>全10回</u>				
4 家庭学習習慣の定着					《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>85</u>	B	<p>○埼玉県学力調査ではかなりの上昇が見られたが、全国学力調査においては、まだまだ改善の余地があった。引き続き、地道な努力を続けていく。</p> <p>○授業改善への具体的な取り組みを示し、授業改善研修会を行っていくことで、学力の向上へと繋げていく。</p>	
①おがの自学ノートの消化率	おがの自学ノートの平均消化率	(116)			
<u>一人5冊</u>	<u>一人5.8冊</u>				
②県学力・学習状況調査の結果向上	伸びが認められた学年数	(40)			
<u>家庭学習時間の上昇</u>	<u>平日/5学年中2学年</u> <u>休日/5学年中2学年</u>				
③おがの自学ノート普及のための取組	・ 広報で推奨 ・ 学校に働きかけ	(100)			
<u>全2回</u>	<u>全2回</u>				
5 教職員の資質向上					《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>100</u>	A	<p>○採用後5年以内の教員を対象にした研修会を5回実施し、資質の向上に努めた。</p>	
①若手教員研修会の開催	若手教員研修会の開催	(100)			
<u>5回</u>	<u>5回</u>				

②外国語教育研修会の開催 <u>4回</u>	外国語教育研修会の開催 <u>4回</u>	(100)	○外国語アドバイザー、ICT活用推進員を配置し、研修会の開催に限らず、日常的な支援を学校に対して行い、教員の資質向上を図った。 ○小学校において令和2年度プログラミング教育を実施するための研修会を実施し、教材開発・指導法研究の推進とプログラミング学習推進リーダーの育成を図った。	
③ICT機器活用・プログラミング研修会の開催 <u>9回</u>	ICT機器活用・プログラミング研修会の開催 <u>9回</u>	(100)		
④小鹿野町小学校プログラミング教育研究推進研修会の開催 <u>4回</u>	小鹿野町小学校プログラミング教育研究推進研修会の開催 <u>4回</u>	(100)		
⑤学校教育指導員配置 <u>3名</u>	学校教育指導員配置 <u>3名</u>	(100)		
6 小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	
①小鹿野未来塾開催 <u>全36回</u>	小鹿野未来塾開催 <u>全36回</u> 英検チャレンジ:6回 漢検チャレンジ:5回 小学生英語体験講座:6回 中学生未来塾:13回 科学不思議講座:6回	(100)	○地域の方や小鹿野高校の協力により4年経ち、今年度は新しく小学生英語体験講座を開講した。8月には約170人の観客を前に「こども英語劇」の発表を行い、異学年の交流や町内の学校間交流が図れた。今後、さらに検定の受験に向けた働きかけと親子共学を推進していく必要がある。	
②検定料助成 <u>英検 80人</u> <u>漢検 110人</u>	英検・漢検検定料助成 <u>英検 108人</u> <u>漢検 106人</u>	(113)		
③学習指導員配置 <u>7名</u>	小・中学校学習指導員配置 <u>7名</u>	(100)		
④学習支援推進員配置 <u>1名</u>	学習支援推進員配置 <u>1名</u>	(100)		
			○学習指導員や学習支援推進員の人材を十分生かし活用することができた。引き続き人材確保に努めていく必要がある。	

7 ハートコンタクトプログラムの推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	○9年間の成長をまとめたファイル 『「志」の実現』を通して、自らの成長を確認し、今後の夢や志に繋がる取組をさらに充実させていきたい。
①「志ノート」を活用した夢や志の育成 中学校卒業生全員に配付 <u>全105名</u>	9年間の成長をまとめたファイル『「志」の実現』を中学校卒業生に配付 令和元年度小鹿野中学校卒業生全員 <u>全105名</u>	(100)		
②「おがのこことだま百選」による保護者・地域との共学の推進 小学生全員に配付 <u>全539名</u>	「おがのこことだま百選」の冊子を作成し、配付 小学生全員 <u>全539名</u>	(100)		○各学校で独自の「暗唱活動評価」を工夫し、校内だけでなく、保護者や地域を巻き込んだ暗唱活動が展開できた。今後、暗唱活動を町全体の取組に拡大したい。
8 おがの家庭教育宣言の推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	○各学校で具体的な約束を掲げ、家庭教育宣言の5カ条を取り組んだことで、家庭学習の習慣化に伸びが見られた。さらなる周知・啓発を図り、親子ともに意識を高めていくことで学力向上に繋げる。
①家庭教育宣言の推進 <u>5校でのPR</u>	家庭教育宣言の推進 <u>5校で広報誌に掲載</u>	(100)		
②家庭における学習時間を習慣化する <u>全児童・生徒の90%</u>	家庭学習の習慣化を図る <u>全児童・生徒の95%</u>	(106)		
9 語学力・コミュニケーション能力の育成				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>80</u>	B	○英検3級取得者については、受験者数は大幅に、取得率も昨年度より向上し、目標に近づきつつある。
①英語検定取得者の増加 <u>中学校卒業時の英検3級取得者40%</u>	英語検定3級取得者の割合 <u>中学校卒業時の英検3級取得者27%</u>	(68)		
②幼稚園における英語体験の推進 <u>ALTの派遣 年11日</u>	幼稚園での英語体験推進 <u>ALTの派遣 年10日</u>	(91)		○小学校の英語教科化を踏まえ、年間指導計画に位置づけ、幼稚園への派遣を計画的に実施した。

10 自他の命と心を大切にす教育の推進					《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>100</u>	A	<p>○教職員対象に研修会を開催した。</p> <p>○民生委員・警察・学校・行政が一堂に会し、情報の共有化が図れた。</p> <p>○専門の相談員を依頼し、学校配置の相談員と連携し、即座に問題に対応できた。</p>	
①人権教育研修会の開催 <u>教職員対象 2回</u>	教職員対象人権研修会の開催 <u>教職員対象 2回</u>	(100)			
②いじめ・非行防止ネットワーク会議の開催 <u>年2回</u>	いじめ・非行防止ネットワーク会議の開催 <u>年2回</u>	(100)			
③学校教育相談員の配置 <u>1人</u>	学校教育相談員の配置 <u>1人</u>	(100)			
11 健康教育の推進					《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>100</u>	A	<p>○児童・生徒を対象に食の重要性について計画的に指導を行った。今後も、更に内容の充実を図るとともに食育授業時間確保の継続性を図っていく。</p>	
①学校において食育授業を行う ・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年10回</u> ・食に関する指導 <u>80時間</u>	栄養教諭による食育授業を実施 <u>年10回</u> 食に関する指導 <u>80時間</u>	(100)			
12 ライフステージに合わせた学習機会の提供					《社会教育課・公民館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>88</u>	B	<p>○小鹿野ときめき生活推進大学の講座は、町内における芸術・歴史・文化・自然、屋外活動、趣味的・地域振興に関するテーマで開催し、受講生に町内のことを幅広く知ってもらうことができた。また全10回講座の予定だったが、11回開催した。</p> <p>○教養講座（中央公民館）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3講座／全10回を中止した。</p> <p>○教養講座（両神公民館）は中央公民館と調整を行い、内容が重複している講座については削減した。</p>	
①小鹿野ときめき生活推進大学開催 <u>全10回・延べ500人</u>	小鹿野ときめき生活推進大学開催 <u>全11回・延べ506人</u>	(101)			
②教養講座開催 ・中央公民館 <u>17講座／全43回</u> <u>延べ430人</u>	教養講座開催 ・中央公民館 <u>14講座／全33回</u> <u>延べ248人</u>	(75) (58)			
・両神公民館 <u>28講座／全44回</u> <u>延べ500人</u>	・両神公民館 <u>16講座／全26回</u> <u>延べ307人</u>	(61)			
・生涯学習講座開催 <u>3講座／78人</u>	・生涯学習講座開催 <u>3講座／82人</u>	(105)			

③訪問講座開催 I <u>延べ400人</u>	交通安全教室・いきがい 学級開催 <u>延べ381人</u>	(95)		○訪問講座は各地区老人クラブの協力を得て、集会所を会場としているため、多くの高齢者の方が参加できた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3講座を中止した。
④訪問講座開催 II 5会場/ <u>延べ50人</u>	地区別人権学習会開催 3会場/ <u>延べ39人</u>	(78)		○地区別人権学習会は、各地区の集会所等を会場に実施。引き続き人権意識の高揚・啓発のため、より多くの方が参加できるように工夫を行う。
⑤婚活イベント開催 <u>延べ80人</u>	・婚活イベントの開催 ・結婚相談室開設 <u>延べ72人</u>	(90)		○婚活イベントは女性が参加しやすい企画を立案し、申込み増加を図る。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月開催予定のイベントを中止にした。
13 生涯学習推進体制の整備と促進			《公民館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	
①小鹿野文化祭の開催 参加：5日間/ <u>34団体</u>	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	(一)	A	○小鹿野文化祭は3/4～3/8(5日間)開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により中止を決定した。
②ふるさとまつり文化展の開催 <u>参加：10団体</u>	ふるさとまつり文化展の 開催 <u>参加：10団体</u>	(100)		○ふるさとまつり文化展において、両神地区出身の女流作家「大谷藤子」に関する展示を行った。今後も地域ゆかりの文化関係者の展示に努める。
14 生涯スポーツと健康づくりの推進			《社会教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	
①スポーツ教室開催 <u>10教室</u>	子供ソフトテニス・硬式テニス・弓道・剣道・バドミントン・卓球・ウォーキング・ソフトボール・ソフトバレーボール・ボルダリング <u>10教室</u>	(100)	A	○少子高齢化に伴い、スポーツ人口が減少しており、大会や教室を企画しても参加者不足で中止になるケースがあり、今後の周知方法等検討する必要がある。
②スポーツ大会開催 18種目21大会 <u>総参加者9,600人</u>	スポーツ大会の開催 15種目17大会 <u>総参加者9,460人</u>	(99)		○空調設置やルール改正に伴うライン改修をしたことにより利用者からは好評を得ている。今後も、利用しやすい施設の維持管理、整備に努める。
③体育施設整備 ・武道場空気調和 設備工事 ・小鹿野中学校第一 体育館バスケット ゴールライン改修 及び床金具撤去工事	体育施設の整備 ・武道場空気調和設備工事 <u>R1.7.10完成</u> ・小鹿野中学校第一 体育館バスケット ゴールライン改修 及び床金具撤去工事 <u>R1.12.10完成</u>	(100)		

15 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用			《社会教育課・公民館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>107</u>	A	<p>○児童・生徒の作品を見やすい場所に展示し、入場者の増加を図った。</p> <p>○町民劇場は「桂米助(落語家)、神田松之丞(講談師)」を招き、入場券は町民優先販売を行った。また、今回初めて抽選会を実施し、好評だった。</p> <p>○郷土芸能祭は、中学校の歌舞伎班による歌舞伎上演などがあり、多くの賑わいを見せたが、更なる集客に努める。</p> <p>○今まで収集してきた文化財を多くの方に見てもらうことにより、地域に対する愛着を感じてもらうことができた。</p>
①小鹿野美術展開催 総出展数/ <u>500</u> 点 入場総数/ <u>800</u> 人	小鹿野美術展開催 総出展数/ <u>501</u> 点 入場総数/ <u>965</u> 人	(100) (121)		
②町民劇場開催 入場者/ <u>600</u> 人	町民劇場開催 入場者/ <u>683</u> 人	(114)		
③歌舞伎郷土芸能祭 開催 来場者/ <u>1,200</u> 人	歌舞伎郷土芸能祭 11月16・17日に開催 来場者/ <u>1,000</u> 人	(83)		
④文化財活用事業の 展開 来場者/ <u>300</u> 人	・小鹿野歌舞伎さろんの 開設 ・日尾荊山展等の開催 来場者/ <u>366</u> 人	(122)		
⑤小中学校の総合的 学習で伝統芸能を 体験 発表会を実施	小学校で神楽、歌舞伎、 中学校で歌舞伎を体験 郷土芸能祭・文化祭で実演	(100)		
16 地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進			《社会教育課・学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>94</u>	B	<p>○児童やその保護者の人権意識の高揚・啓発のため継続的に実施する。保護者への働きかけを積極的に行う。</p> <p>○参加者には好評を得ており、各講座とも満足度は高い。(アンケート結果では3講座とも全員が「満足した」と回答した。)講演会の参加者が集まらないので、参加者を増やす工夫を引き続き検討していく必要がある。</p>
①人権を考える集い (両神小学校で開催) 児童・保護者・教師 <u>50</u> 人	人権研修会の開催 (両神小学校で開催) 児童・保護者・教師 <u>38</u> 人	(76)		
②家庭教育支援事業 3講座 参加者/ <u>220</u> 人 満足度/ <u>80%</u>	家庭教育支援事業の開催 3講座 参加者/ <u>148</u> 人 満足度/ <u>100%</u>	(67) (125)		

③学校応援団への地域協力者の増加 延べ/2,500人	学校応援団への地域協力者の増加 延べ/2,715人	(109)		○学習支援・環境整備・安全活動など多方面にわたり、多くの協力を得られた。
17 利用者サービスの充実				《図書館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>101</u>	A	○分室の開館日数、開館時間の減少の影響が出ていると思われる。利用される図書館を目指して改善に努める。 ○施設等へのサービスは定着してきている。今後は内容の充実に努める。
①図書貸出者数の増加 年間9,000人	図書貸出者数 年間8,464人	(94)		
②貸出冊数の増加 年間貸出冊数1人3.0冊	貸出冊数 年間貸出冊数1人3.0冊	(100)		
③福祉施設等での読み聞かせの実施 施設月4回	福祉施設等での読み聞かせ 施設月4回	(100)		
④児童施設等への資料貸出 年間貸出数/1,500冊	児童施設等への資料貸出 年間貸出数/1,633冊	(109)		
18 図書資料の充実				《図書館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>101</u>	A	○利用者のニーズに応えるため、リクエストされた資料等を中心に、新規資料を収集し、資料数の増加に努めた。
①蔵書資料数 資料点数68,500点	蔵書資料数 資料点数68,954点	(101)		
②新規受入資料数 資料点数3,600点	新規受入資料数 資料点数3,697点	(103)		
③資料の予約・リクエスト件数 件数1,700件	資料の予約・リクエスト件数 件数1,707件	(100)		
19 子供読書活動の推進				《図書館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>189</u>	A	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できない月があった。未実施の該当乳幼児へは令和2年度に実施する。
①ブックスタート・ブックチャレンジ事業の実施 参加率/対象児90%	ブックスタート・ブックチャレンジ事業 参加率/対象児79%	(88)		

②おはなし会の開催 <u>参加人数90名</u>	おはなし会 <u>参加人数72名</u>	(80)	○少子化の影響もあり年々参加者が減少している。実施方法等の検討が必要である。 ○調べる学習・感想画コンクールともに応募点数が予想を上回る結果となり、コンクールへの関心が高まってきている。今後は応募作品のレベルアップに繋がる支援に努める。
③調べる学習地域 コンクールの開催 <u>応募点数30点</u> <u>応募参加者45人</u>	調べる学習地域コンク ール <u>応募点数49点</u> <u>応募参加者78人</u>	(163) (173)	
④読書感想画 コンクールの開催 <u>応募点数20点</u>	読書感想画コンクール <u>応募点数88点</u>	(440)	